

11月12日、19日に行われた第二回神保町映画祭。
6作の上映作品の中から神保町の皆様によってグランプリが決定。
応募総数127作品 作品の選考からグランプリ決定まで、まちの人と作る映画祭。

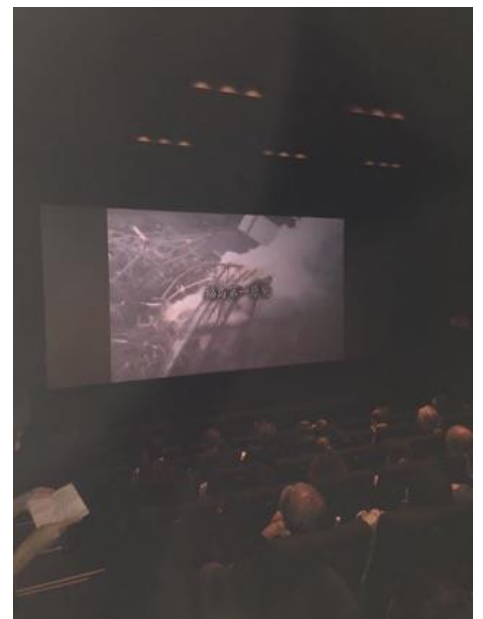


第二回神保町映画祭は平成28年11月12、19日の二日に渡って神保町にて開催されました。28年3月から7月にかけて「あい・ことば」をテーマに募集された30分以内の作品の総数は127本に及び、条件は自主製作映画であることの一点で、ジャンルやプロ・アマは問いません。実行委員による1次審査、“まちのひと”審査会による2次審査を経て12日には最終選考に残ったのは以下の6作品です。

若見ありさ監督、荒井知恵監督、こぐまあつこ監督によるオムニバス作品『Birth-つむぐいのち-』、田中聡監督『小指ラプソディ』、渋谷悠監督『100年の謝罪』、飯野歩監督『落研冒険支部』、角川祐明監督『ミュージカル/MY☆ROAD MOVIE』、マツムラケンゾー監督『かなわぬ恋』

11月12日、場所は東京古書会館にて上映会が15時から17時に渡って行われました。上映後には投票が行われ、観客の票によってグランプリが選ばれます。

11月19日は二部に分けて構成され、第一部は HASSO CAFEにて15時より授賞式が行われました。来賓の千代田区観光協会森川会長のご挨拶に始まり、準グランプリに輝いた『落研冒険支部』主演の小園優さん、スチール等を担当した石出さんからお話を伺いました。その後神保町映画祭 PR ちよだの魅力シリーズ『再会』の渡邊聡監督や女優のフジイミホさん、福島ドキュメンタリー映画『Life』の予告編上映と福興浜団 丹治さん、第二部で上映される『ここから』の澤口明宏監督のコメントを頂き、そしていよいよグランプリ作品の発表。プレゼンターはゲストの深田晃司監督。



グランプリ作品は角川祐明監督の『ミュージカル/MY☆ROAD MOVIE』に決定しました。

第二部では場所を神保町シアターに移し上映会を行いました。第一部に引き続きドキュメンタリー映画『Life』の予告編、澤口明宏監督の『ここから』の上映、そして昨年度グランプリ「あかべこ」の高橋秀綱監督による『秋の午後』が上映され俳優の笠兼三さん、高橋監督のお話を伺いました。そして準グランプリ作品の『落研冒険支部』、『ミュージカル/MY☆ROAD MOVIE』の上映を行い、監督の喜びのコメントには場内から祝福の拍手が起こりました。そして最後に改めてプレゼンターの深田晃司監督から全体を総括するお言葉を頂戴し、大盛況のうちに第二回神保町映画祭は終了しました。